

まちづくり

# 「和」のプロジェクトの展開を

## 住民主体・参加型など検討します



山口勝士 議員

「和」のつながりで、いろいろできたらすごい！

人的なグループ・団体等の提案をしつかりと受けとめ、形式にとらわれない住民主体・参加型など、検討したいと思います。

### 「定住促進」 具体的な施策の 検討を

**質問** 若年層に当町に住み続けてもらうには、単純に方法は3つ。「今住んでいる家に住み続けてもらう」「家をつくってもらう」「家を買ってもらう」という点に明確に焦点を当てての具体的な施策は。

新たな宅地分譲施策など、いろいろな施策が考えられますが、財政的な負担の大きな事業については、すぐに取り組むことが難しい状況です。農家用住宅バンクを一般住宅空き家と一元化し、「小川町空き家バンク」とするなど、まず空き家の利用から今まで以上の充実を図るよう、関係各課と取り組んでいきます。

質問

細川紙を核とし、小川和紙を中心に「和」としての素材、人を集める魅力、題材をつなげる「和」のプロジェクトの展開は。また、そこに多くの住民の皆さんの力を生かし、さまざまな展開はできないか。

**答弁** 政策推進課長 和紙・木工建

具・酒蔵などの伝統産業に町内外から大きな関心を集めるようになり、各イベントには多くの来場者を数えるようになりました。栃本親水公園での「紅葉まつり」など、地域にある個々の素材やさまざまな魅力を醸し出したイベントが増えてきています。行政の力だけでなく、関係各位や個

質問

若年層に当町に住み続けてもらうには、単純に方法は3つ。「今住んでいる家に住み続けてもらう」「家をつくってもらう」「家を買ってもらう」という点に明確に焦点を当てての具体的な施策は。

**答弁** 都市政策課長 マイホーム取得助成・



にぎわった紅葉まつり

危険な道路の  
早期改良整備を望む！

まちづくり

# 県道・町道の早期改良を望むが 適切な方法を鋭意検討します



松本修三 議員

**質問** 県道飯能寄居線の交通量の増加により、青山地内の車道・歩道が狭く急なカーブで事故も多い。早期の整備を望むが。

**答弁** 建設課長 県道飯能寄居線については、平成21年度に車道、平成25年度に歩道整備を県に要望しています。引き続き、早期の整備が進むよう地域の現状を伝え、県へ働きかけを続けていきます。

質問

町道119号線は、当町から嵐山町・ときがわ町への通勤道路でもある。また、訪れる人たちのためにも早期の整備を進めるべきである。地元要望により、平成19年12月議会にて、請願も採択されたが、なぜ8年間も放置されているのか。

質問

側は急な崖地が続き、反対側は河川の急な護岸であり、拡幅工事には多額の工事費が必要となり、現在の財政から見ると困難です。また請願の採択を受け、何も進んでいないことに執行部として重く受けとめています。工事の手法・安全性・財源の関係等を含め、どのような方法が適切か、鋭意検討していきます。

**答弁** 副町長ほか 当該場所の山



青山地内飯能寄居線

時代に合った「きょうどう」の仕組みをつくっていきましょう。Yes, we can!

まちづくり

# 「きょうどう」のまちづくりをしてほしいが 現状を見極め、考えたいと思います



島崎隆夫 議員

**質問** 和紙に関係する方々との共同として、もっと積極的に関わってほしい。小川和紙をオリンピック等の国際大会で使用してもらう努力や、アーティストにさまざまな形で取り入れてもらうような手法はできないか。

**答弁** 産業観光課長 県の担当課からの情報をいただきながら、和紙関係の方々とも情報交換を行ないます。また、和紙を用いた作品づくりを支援

し、和紙文化の創造・振興・啓発につなげたいと思います。

質問

町内企業との共同として、小中学生に親子で企業訪問・見学をしてもらい、町民に向けて発表をする。同時に双方向での情報発信をして関係を深め、さらに発展してもらおうようにしてはどうか。

質問

自治会・行政区との協働として、積極的に地域に向き指導し、協力を求めていくことをしなくてはいけないと思う。そこで、「ごみの分別などを映像化して配

質問

布」「道路愛護」「地域の維持の手法を伝える」「健康増進の指導者をつくる」など、区長や地域の方にも丁寧な説明していく必要があると思うが。

質問

健康増進課長 ほか 今後さらに地域との関係を構築していきます。

質問

小川高校との共同を進めてほしいが。

質問

生涯学習課長 体育施設の相互利用はできています。今後、駅北側整備に向けて協議を進めていきます。



農地での共同作業